

## 快適な住まいを届けるために 現場や周辺へ配慮を欠かさない

### ものづくりの現場では 人と人との関係が大切

現場監督の仕事は、発注者や設計者から託された、こんな建物をつくってほしいという想いを、職人さんに伝えて実際に作り上げる役割。現場を切り盛りする上で難しいのは人間関係だと井上さんは言う。

「職人さんは自分の父親より年上のことも。でも品質にかかわることは厳しく伝えます。その上で気持ちよく働いてもらえるように、自分がかかわる現場ではコミュニケーションを大切にしています」

### 建物を建てる期間が 将来住む人の安心をつくる

「入社したころの目標は建物を図面どおりに建てることでした。でも今はその先にある安全・安心、快適な住まいを提供することに努めています」と言う。マンション建設は、住む人の生活の基盤をつくる仕事だ。「だからこそ安全管理や品質管理を徹底するとともに、安全・安心、快適に働ける環境づくりや、近隣の方々に迷惑や心配をかけないように心がけます。目に見えないけれど大切なことです」

#### 仕事人の目



#### きちんと図面どおり適切に 組み立てられているか確認

現場での必需品はメジャー。決められた強度と太さの鉄筋が、図面どおりに納まっているか確認する。「施工された状態が設計図どおりかチェックを繰り返します。安心な建物をつくるには必要不可欠なことです」

職人さんとの意思疎通は大切。「よい建物をつくる秘訣です」(井上さん、以下同)



井上雅文さん

長谷工コーポレーション 現場主任

入社後はマンションの建設現場一筋に12年。現在の建設現場が11現場目。業務は、施工管理、事業主・近隣・行政・顧客対応など多岐に渡る